



〔海の状況 (4/21~5/20)〕

神子表面水温……期間全体をとおして、かなり高め(平年より1.0~1.5℃程度高め)で推移した(図1)。
米ノ表面水温……期間全体をとおして、平年並み(平年より±0.5℃)で推移した(図2)。

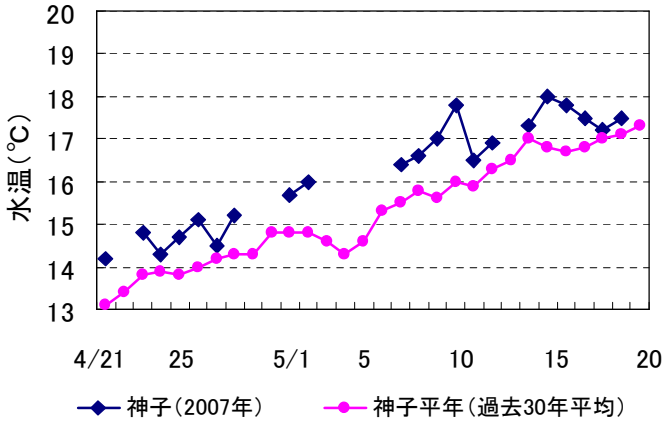


図1 若狭町神子地先における表面水温の推移

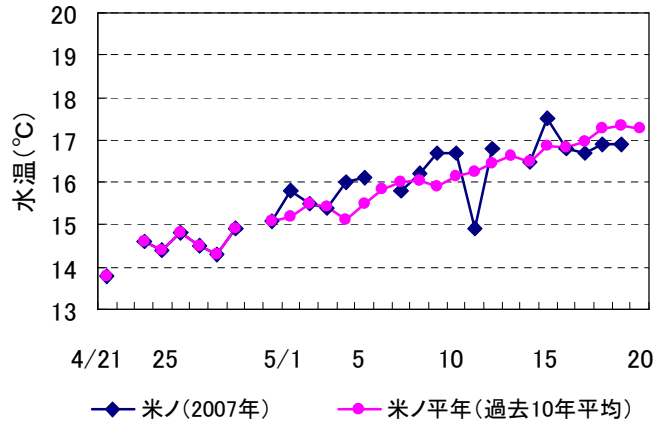


図2 越前町米ノ地先における表面水温の推移

100m深水温……若狭湾沿岸域には13℃台の水域が広がっていた。

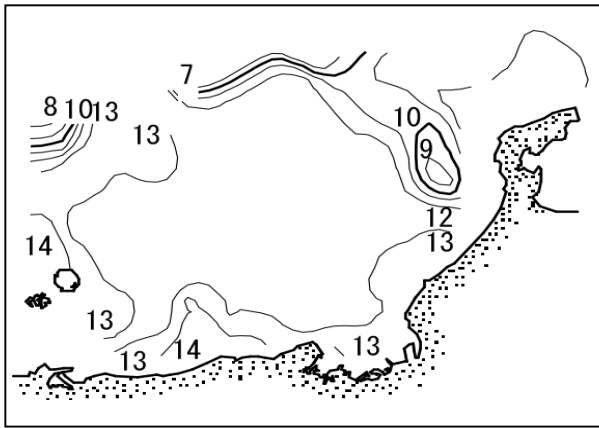


図3 2007年5月上旬の100m深水温

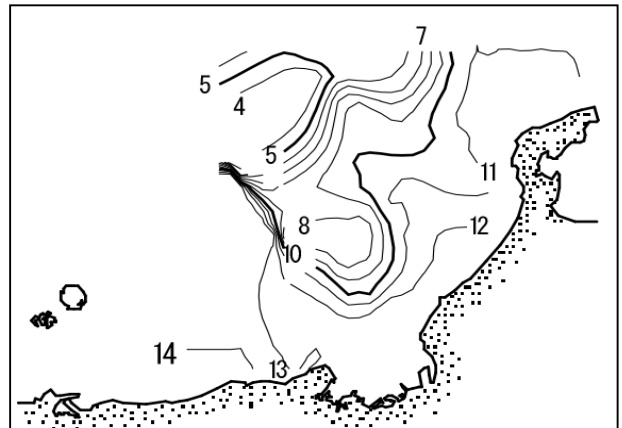


図4 2006年5月上旬の100m深水温

平成19年度日本海マアジ長期漁況予報

日本海区水産研究所が2007年5月~9月までの日本海マアジ漁況予報を発表しましたので、関係部分をご紹介します。

○ これまでの経過(2006年4月~2007年3月)

島根県~新潟県の主要港への水揚げ量は、過去5ヶ年の平均値(51,000ト)を大きく下回ったものの前年同期とほぼ同水準の42,000トでした。日本海西部において、初夏以降0歳魚(2006年級)の加入が多くみられましたが12月以降の0歳魚(2006年級)の漁獲は低調でした。

○ 今後の見通し(2007年5月~9月)

漁獲の主体となる1歳魚や初夏以降の0歳魚は、昨年の資源評価や漁況の推移から、0歳魚は前年並み、1歳魚は前年をやや上回り、全体の来遊量は前年並と考えられます。

(瀬戸 久武)

